

令和5年2月21日さど未来創造・戦略推進会議 配布資料  
総合政策課

パブリックコメントへの対応(佐渡市地域循環共生圏の創造による持続可能な島づくり推進条例)

意見No.	意見等	意見等への対応
意見1  令和5年1月16日 入力フォームから の提出	<p>「地域循環共生圏」に関連する基本的な考え方として、国では各計画等に基づき、各施策が進められているが、一方で、環境の島を目指してきた佐渡市でもこうした法律や関連した条例を根拠に策定され、実行されてきた計画がいくつかある。また、前述の市計画は、国と同様の用語が用いられ、それらの計画は「佐渡市総合計画」のような基本構想を推進するための個別計画として定義されて、取り組まれてきた。</p> <p>こうした経過を踏まえ、「地域循環共生圏」の概念に関連し得る「既にある市の各種計画と本条例との関連性、又はそれら計画の取扱い」について、「市の責務：第4条第1項」へ追記することを提案する。</p>	<p>市では、佐渡市総合計画をはじめとする各種計画等においてSDGsの考え方を取り入れ、その達成に向けた施策を展開しています。市の各種計画等は、本条例の基本理念との整合性に努めるべきものと考えます。ご提案を受け、第4条に「市は、各種計画等を実施する場合には、本条例との整合を図るよう努めるものとする」を記述します。</p>
意見2  令和5年1月30日 入力フォームから の提出	<p>わかりやすくまとまっているが、「ステークホルダー」だけは理解されにくいと感じる。未就学児から高齢者までわかりやすい他の文言があれば検討してほしい。</p>	<p>「地域循環共生圏」や「SDGs未来都市」等の国の考え方において、「ステークホルダー」という用語が一般的に使用されています。また、第2条(4)で「ステークホルダー」を定義しているほか、本条例案に逐条解説をつけて説明しています。今後の普及啓発においても、わかりやすい説明に努めます。</p>
意見3  令和5年2月6日 窓口での提出	<p>障がいのある方の実態把握、障がいについての専門的な知識と理解のある支援者の育成など、誰もが安心して暮らせる持続可能な島「誰一人取り残さない」目標を必ず実現して頂きたい。</p>	<p>本条例の基本理念の実現に向けて、島全体で取り組んでまいります。</p>